

注文出荷制 特集&PICKUP

FAX 0120-999-660

人文・社会・哲学書
ご担当者様

ベストセラーのご案内



書肆水月

世界資本主義の夕暮れに極楽鳥は羽ばたくか？

わたしたちはいま、どのような時代を生活しているのか？

2021年初夏に世を去った『バブル文化論』の著者が、「人新世」にいち早く着目し、後期近代を論じた2作。

〈空虚〉で実体 (essence) をもたない、受け容れるだけの空箱。

日本とは？日本人とは？世界の〈和〉ブームのなか、日本のオリジナリティは、日本文化はいまどこにあるのか？

原宏之が後期近代という時代を読み解き、日本人の心性、大衆文化からモードの現在までを、葉良 沐鳥の筆名で、独特の感性で語る。東京オリンピック・パラリンピックをめぐる状況も見据え、原が2021年の日本に問いたかったこととは？ 餞の辞を寄せるのは、東京外国語大学名誉教授の西谷修氏です。

四六変判仮フランス装 / 202頁 2200円(税込) ISBN 978-4-9911402-1-1

空虚の帝国

葉良 沐鳥(はらしずどり) 著



図書新聞 第3505号

2021年上半期読書アンケートで紹介されました。

後期近代の哲学 ①

後期近代の系譜学 その現在から誕生へ

原 宏之 著

“地球システム(「ガイア」)の歴史は、ホモ・サピエンスの時期を前にして
微動だにしない。悠久である。”

— INTRODUCTION 人新世を待つ後期近代ホモ・サピエンスに捧げる哀悼 より

1830年代、流行と世界市場の開花とともに走り出した、後期近代という「装置」。人新世を前に、智慧と道具の生きものであったはずのホモ・サピエンスは、どのように立ち向かうべきか？ 特異な時代の諸問題と由来を、資本主義、デモクラシー、社会契約説といったキーワードを手がかりにわかりやすく概説。

* 著者の急逝により ①巻のみのご用意となりますが、是非とも多くの方にお届けしたい一冊です。

四六判上製 / 560頁 6380円(税込) ISBN 978-4-9911402-0-4

原 宏之 / 葉良 沐鳥(はらしずどり)

学者・教育者(哲学)。1969年生。著書に『バブル文化論』(慶應義塾大学出版会)、『世直し教養論』(ちくま新書)など多数。

リエージュ大学哲学科中退。パリ第10大学専攻横断大学院(認識・知・情報の科学)コース高等研究免状課程修了。東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(学術:東京大学)。認識論・近代哲学史を専攻。2018年明治学院大学教授を退職。ポンピドゥー・センター付属研究所客員研究員、東京大学教養学部超域文化学科非常勤講師、早稲田大学教育学部学際コース及び文化構想学部表象・メディア論系非常勤講師等を歴任。2021年6月没。



カバー写真 ©SEBASTIÃO SALGADO

ご注文数

直取引代行
トランスビュー

書肆水月の商品は、低正味の直取引のトランスビューの取扱で納品いたします。直取引の条件はトランスビューの商品と同じ(返品可)です。取次ルートの場合、買切・返品不可となります。トランスビューとお取引がないお店からのご注文は、小社よりご連絡いたします。1冊からお気軽にご注文下さいませ。

貴店名

ご担当

cultura-animi.com 書肆水月 329-1334 栃木県さくら市押上1043

TEL: 050-3503-7136 FAX: 0120-999-660 e-mail: info.suigetsu@gmail.com